

GREEN RANGER NEWS

2020年12月号

Vol.324



NPO 法人蔵王のブナと水を守る会事務局
〒989-0231
宮城県白石市福岡蔵本字滝下102
URL <http://www.zao.org/>
e-mail mail@zao.org

■10月の活動報告

【出前】10月31日(土) 遊びのワンダーランドに参加

柴田町で開催された「第2回 遊びのワンダーランド」に参加。遊びのワンダーランドは、子どもたちに豊かな遊びを提供しようと、木のおもちゃや工作、絵本の読み聞かせ、カードゲーム、おもちゃ病院などのグループが集まって開催している。今回は新型コロナウイルス感染症予防のため事前登録が必要だったため、参加者は少ない状況だった。

当会では、森にある素材(枝や木の実)を利用して子どもたちに思い思いの作品を作ってもらった。子どもたちは作品例の写真コピーや実際の作品サンプルを見て、何を作るか決めているようだった。最初は子どもたちに素材を接着してあげていたが、徐々に順番を待ち切れず、自分で接着するようになったのは良かったと思う。作品作りには子どもも大人も楽しんでくれ、お昼休みをはさんで午後には作業の続きをしに来る子どももいた。

(反省点)作業に使用したテーブルのあちこちに糊の小山ができてしまい、後片付けに時間がかかった。今後は今回使用したテーブルの上に紙を敷くか、別途専用作業台を準備するよう心掛ける。

(感想)子どもたちは実際の作品サンプルを見てから何を作るか決める場合が多いので、予めいくつか作品サンプルを準備しておくのが良いと思う。又、今回はほとんどの作品に目玉シールが使用され、準備した約100個の目玉シールをほぼ使い切った。グルースティックは20本入り1箱をほぼ使い切った。目玉シールとグルースティックは忘れずに準備する必要がある。



■ 11月の活動報告

【定例会】（作業小屋・物置小屋の大掃除、理事会、観察路散策）11月8日（日）

晴れだが風の強い日に。作業小屋への間道に入ると無数のツルウメモドキの紅い実が波打って迎えてくれた。大掃除班は早めに終了したらしく、観察路散策へと向かって行った。一方、冬季の定点カメラ設置はなかなか完了できず四苦八苦、ようやく終了、他のカメラの巡回に行く。彩遊の森駐車場付近、「アオバトだ、綺麗！」、初めての出会いなのに写真を撮るのを忘れた。そんなこともあって、昼ご飯も遅れをとってしまった。

理事会は来年度も含めた予定を話し合う。その後、前回の動画とツキノワグマの纏めた動画を観賞。そして来年の動物生態観察をどう進めていくか、次回の「森の教室」で話し合うこととした。

帰り際、時雨になり、虹が植林地を覆った。参加者：9名 訪問者：2名



【森の教室】動物生態観察まとめ 11月22日（日）

刈田岳か熊野岳か、頂上付近にほんの少し雪。今年最後の「森づくり自然園」通いなので、1年を振り返ってみる。動物生態観察を始めてどうだったか、面白くもあり、難しくもあったと。当初は、撮れるかどうか、どこに何が居てどう動くかサッパリ分からず、穴があるからアナグマがいるだろう位でカメラを設置していた。少しでも撮れていると大喜びしていたが、そのうち撮れる撮れない場所が顕著になってきた。それでも、獣類はイエネコ・ツキノワグマ・テン・トウホクノウサギ・ニホンアナグマ・ニホンイノシシ・ニホンカモシカ・ニホンタヌキ・ハクビシン・ヒメネズミ・ホンドギツネなど、鳥類はアオバト・アカゲラ・カケス・キジバト・ハシボソカラス・ヒヨドリ・フクロウ・ヤマドリなどの動画が撮れている。



だが、生態観察として納得している訳ではない。みんなで動画の分析から始めなければと思う。

作業小屋に着く。調べてきてくれた「動物の生態について」のレポートを土台に話が進む。大まかには、年間の生活サイクル・夜行性か昼間行動か・行動する範囲・食べ物・冬眠するか・特異な行動するかなど。来年は、まず季節の食べ物を主にカメラ設置場所を考えてみようかと午後から下見に行く。森づくり自然園は、すっかり葉が落ち、枯葉の絨毯にもう木々の影が直線を引いている。来年また来ます。参加者：7名

■ 12月の活動案内

[海岸林]

集合時間 12月13日（日） 10時

集合場所 海岸公園 センターハウス前

- 内 容
- ・ ケヤキ等の幹切りをして、萌芽した芽を伸ばす作業
 - ・ 調査木の測定
 - ・ 植林木の定点撮影